
	<h2>23区唯一のカタクリ群生地 (仮称)清水山公園を整備します。</h2> <p>～平成29年春に開園～</p> <p>事前のお知らせ</p>	
と き	平成28年8月～29年3月上旬工事予定。	
と ころ	(仮称)清水山公園(大泉町1-6)	 <p>今年のカタクリの開花状況。 北向き斜面は、見ごろを迎えると薄紫色のカタクリの花で覆われる。</p>
<p>23区唯一のカタクリ群生地「清水山憩いの森」(大泉町1丁目)を、カタクリを保全しながら、公園として整備する。公園面積10,640㎡ 平成29年3月の開園に向け、8月に工事着手予定。</p>		

【清水山憩いの森(10,263㎡)】

23区唯一のカタクリの群生地であり、昭和51年に「清水山憩いの森」として一般に公開。「東京の名湧水57選」にも選ばれている。区ではこの貴重な自然を未永く保存するために「(仮称)練馬区立清水山公園」として新たに整備する。整備にあたっては、区民からの寄付を原資とした練馬区みどりを育む基金も活用する。平成29年3月に開園予定。

【整備計画がまとまる】

「みどりの風吹くまちビジョン」のなかで、特色ある公園整備のひとつとして位置づけられている(仮称)練馬区立清水山公園については、平成26年度、区民意見反映制度により区民から意見を伺い、「(仮称)練馬区立清水山公園整備基本計画」を策定した。

平成27年度、来園者の動線や計画地の周辺状況を勘察し、より具体的な計画である「(仮称)練馬区立清水山公園基本設計(案)」を作成した。

この基本設計(案)について、地域住民と話し合いを重ね、地域から提案を受け、整備方針を決定した。
【整備方針】

カタクリの自生している斜面林の保全・育成を優先し、トイレは整備せず、必要最小限の整備を行う。誰もが安心して快適に利用できるよう、バリアフリーに配慮した園路、カタクリテラス等を整備する。来年のカタクリの開花に間に合うよう、今年の8月から工事に着手する。

【カタクリの紹介】

カタクリはユリ科に属する多年草で、冬から早春にかけて陽光が降り注ぐ、湿り気のある落葉樹林に見られる。通常北向きの斜面林に多く見られ、武蔵野の面影を残す典型的な雑木林である「清水山憩いの森」でも、北向きの斜面に生えている。

カタクリは、種子から花が咲くまでに7～8年かかり、草丈は10cmほど。2枚葉を出し、2枚の葉から出る茎の先に花をつける。花は通常薄紫色で下を向き、6枚の花びらを外に反り返らせて咲くのが特徴。一株の開花期間は一週間程度で、例年3月下旬から4月上旬にかけて次々に咲き始める。

交通 西武バス・国際興業バス(石神井公園駅北口～成増駅南口、
光が丘駅～土支田循環)で「土支田二丁目」下車徒歩約3分
練馬区みどりバス(光が丘駅～保谷駅)で「土支田地域集会所」下車 徒歩約4分(駐車場はありません)

【問い合わせ】 練馬区 土木部 道路公園課 公園建設係 ☎ 03-5984-2416